

# みんなで創ろう『つくばアクションプロジェクト』

整理番号 / I-12

科目番号 / 1226 091

英 訳 名	Planning and Execution of the TSUKUBA Action Project		
開 設 学 群	学生生活支援室	責任者 (成績報告者)	加賀信広
曜 時 限	2 学期月曜 6 時限	研究室	スチューデント・プラザ1D303
単 位 数	1 単位	オフィスアワー	学生生活支援室 9:00~17:00
標準履修年次	1 年	連絡先	029-853-2269 forum@t-act.tsukuba.ac.jp

教 育 目 的	大学生生活への適応	○
	学習目標・学習動機の獲得	
	自律的な自己確立とキャリアプランづくり	○

## 授業概要 (目的・特徴)

「大学4年間をどのように過ごすか」、この問いに対する答えを大学に入る前から考え続けてきた人は多いでしょう。答えはもう見つかりましたか? 学問、サークル、ボランティア、アルバイトなど様々な答えがあります。しかし、大学内では行われていない活動で参加したいことがある人や、漠然としているけれど「こんなことをしてみたい」という、アイデアを密かにお持ちの人も多いのではないのでしょうか。

この授業では、自分の興味や関心を活かし、自らが主体的に関わりたいと思えるような活動を企画し、それを実現させるための方法について学ぶことを目的としています。そのため、講義の他に演習やグループワークを行います。自分一人の発想では実現困難と思われるアイデアでも、他の学群や学類の人たちと話す中で新たな可能性が見つかるでしょう。この授業を通して、皆さんの学生生活がより実り多きものになることを期待します。

なお、つくばアクションプロジェクト (T-ACT) とは、平成20年度から本格的に始動している、学生の皆さんの自発的な主体的な様々な活動に応えるための筑波大学のプロジェクトです。この授業で考案されたプランは、T-ACTとして他の学生や教職員と一緒に実現化していくことができます。活動の内容は学問的なものだけでなく、日々の生活に密接に関係した内容やボランティア活動まで、様々な内容を想定しています。

## キーワード

自発的活動、参加力・体験力・コミュニケーション力・統率力・企画力

## 授業の到達目標

この授業を通して、豊かな学生生活のために、新しい活動への積極的な参加力や体験力、協調して活動をするためのコミュニケーション力、人に働きかけて統率する力、自らの考えを活動として実現する企画力などの獲得に加え、学類・学群を超えた幅広い人間関係の構築を図ります。

## 履修条件

1 学期 (科目番号 1226041) および 3 学期 (科目番号 1226141) と同一内容のため、重複履修は不可。

## 成績評価方法

出席状況、課題の提出、レポート等により総合的に評価します。

## 教材・参考文献

必要に応じて授業中に紹介します。

## 授業外における学習方法

事前に内容を確認し、必要に応じて活動に関する情報を集め、関連する事柄に関する学習をしておくこと。

## その他 (受講学生に望むこと等)

学生生活を豊かに過ごし、自己の可能性を高めるチャレンジを一緒にしていきましょう。

## 各週授業計画

学期	週	月 日	講 義 題 目	講義担当者	所 属	講 義 概 要	
第 2 学 期				連絡先			
		1	9 月 3 日	オリエンテーション	加賀信広 大久保智紗	人文社会系 学生生活支援室	T-ACTプログラムの全体の概要や目的、進め方、授業の目的と位置づけなどのオリエンテーション。T-ACT入門。
		2	9 月 10 日	学生生活とT-ACT	大久保智紗 ほか	学生生活支援室	豊かな学生生活というのはどういうものか、筑波大学での学生生活を考える。自分にとってのT-ACTとは。
		3	9 月 19 日 (振替授業日)	T-ACTの実践例	大久保智紗 ほか	学生生活支援室	T-ACT実践例とこれまでの学内の学生主体の諸活動の紹介。実践の仕方、参加方法、パートナーとの関わり方を考える。
		4	9 月 24 日	今の自分と 未来の自分	大久保智紗 ほか	学生生活支援室	過去・現在・未来の時制を用いて、なりたい自分と今の自分という理想と現実との比較を通して、自己分析を行う。
		5	10 月 1 日	仲間とは何か?	大久保智紗 ほか	学生生活支援室	あなたにとっての「仲間」とは何か? 自分の仲間イメージ、価値観を探る。今の人間関係にそれがどう作用しているか。
		6	10 月 15 日	T-ACTの考案	大久保智紗 ほか	学生生活支援室	ワークシートを基に、T-ACTとして興味ある活動をメンバーに紹介し合い、最終発表会用の企画を選び出す。
		7	10 月 22 日	実現への道 1	大久保智紗 ほか	学生生活支援室	前回の授業で選んだ企画案を持ち寄り、各グループでそれぞれの企画を実現するための手順について検討し合う。
		8	10 月 29 日	実現への道 2	大久保智紗 ほか	学生生活支援室	前回に引き続き、それぞれの企画の課題や問題点、進めていく上での検討点などについて解決策や工夫を話し合う。
		9	11 月 5 日	T-ACT案発表 1	大久保智紗 ほか	学生生活支援室	グループ別に企画案のプレゼンテーションを行う。なお、法律相談弁護士を招き、企画の法的問題の助言も行う。
		10	11 月 12 日	T-ACT案発表 2	大久保智紗 ほか	学生生活支援室	前回に引き続き、グループ別に企画案のプレゼンテーションを行う。法律相談弁護士を招き、企画の法的問題の助言も行う。
	11	11 月 19 日	期末試験	加賀信広 大久保智紗	人文社会系 学生生活支援室		